

第四回児童発達支援センター主催研修会を開催しました

9月8日（月）泉佐野市社会福祉センターにて、大阪府立砂川厚生福祉センター（いぶき）の松本瑠加先生をお招きして「強度行動障がい」をテーマにご講演いただきました。

参加者は、小・中学校、こども園、事業所職員、また保健師や行政機関など児童の支援に関わる支援者でした。

研修会では、障害特性の理解から具体的な支援まで、実際の事例を交えながら丁寧にお話していただきとても勉強になりました。特に「行動の背景を理解し、その人に合わせた支援を工夫していくことの大切さ」を改めて実感することができ、日々の支援をふり返る機会となりました。本人が環境に適応することを目指すだけでなく、何に困っているのかという本人の出しているサインをキャッチし、本人が安心できる環境をどう作っていくのかが重要であることなど、今すぐにでもできるたくさんのヒントをいただきました。

参加者からは、「未就学、就学児、成人など、どの層に対しての支援でも共通するものがあり、本人支援、本人の思いを大切にする支援の視点を忘れてはならないものだと感じました。」「利用者の方の特性の理解をし、環境の構造化を実践し、チーム全体で統一した支援を行えるように日々の業務に携わっていこうと思います。」などの感想をいただきました。

今後も子どもたちが安心して過ごしていけるように、関わる支援者で連携をとっていきながら、よりよい環境づくりや支援を一緒に考えていきたいと思っています。

